

源氏物語と能 つながり学ぶ

福山で市民講座

福山市伊勢丘の市東部図書館で開催中の移動文学展「よみかえさるる源氏物語」(十二月四日まで)にちなみ、源氏物語と能のかかわ

源氏物語にまつわる曲について解説する
大島さん(左奥)



りを学ぶ講座が十五日、同館であった。約三十人が伝統芸能の奥深さを体感した。同市を拠点に活動す

る喜多流大島家の能楽師大島衣恵さん(34)が講演した。室町時代に大成した能の歴史を説明し、源氏物語を題材

にした曲のあらすじを紹介。光源氏と夕顔の上の出会いの場面を表現した「半部」、同物語の葵の巻をテーマにした「葵上」の謡の実演もあった。聴講者も独特の節に挑戦した。同市手城町の不動産業士井邦子さん(64)は「興味深いと思って参加したが、能と源氏物語がつながっていると知らなかった」と驚いていた。

(山本堅太郎)